**第１年次A組　現代社会　学習指導案**

志学会高等学校　指導案

平成２９年１２月１２日（火） 第４校時

　１年次A組　２０名（男子８名　女子１２名）

１　題材　消費者問題

２　題材について

(１)　題材観

消費活動が活発になるにつれて、様々な消費者問題が発生している。問題解決のために法律や行政機関が新設されたが、時代が進むにつれて消費者問題の内容も大きく変化している。過去の問題を教訓にどのように賢い消費者として、問題に取り組んでいくかをテーマに授業を行っていく。

(２)　本校の課題と生徒観

　　本校は通信制の学校であり、授業日数が限られている。そのため授業は最低限の学習内容にとどめ、自宅学習で生徒自身が補っているのが現状である。1年次生は中学校段階の時点で、不登校の生徒が多く、高等学校で本格的に学習を再開した生徒が多い。またアルバイトをしている生徒も多く、同年代の生徒に比べ十分な知識がない状況で、経済活動を担っている様子がうかがえる。公民科の目標である「広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせる」ことができるよう、生徒自身の問題として問題提起をしていき、生徒自身の考えが構築できるようにする。

３　本時の学習指導

(１)　ねらい

　①　消費者問題の問題点について理解する。

　②　消費者問題・運動のあゆみを理解する。

　③　消費者問題を防ぐ方法について考える。

(２)　指導過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 指導内容 | 生徒の学習活動 | 指導上の留意点 |
| 導  入  ５  分 | 〇ひろがる消費者問題  「信用」に着目し、消費  者と取引相手の関係性に  ついて考えさせる。 | ・教科書の該当部分から内容  　を抜き出し、内容の意味を  　理解する。 | ・学級全員が理解した  か確認する。 |
| 展    開  40  分 | ○消費者問題  ・消費者行政について  　説明。  〇サリドマイド事件  ・事件の概要を説明し、  　考えをまとめる。  〇事件を防ぐためには  ・生徒同士の議論で考え  　を深める。 | ・消費者問題に関する法律や  　行政の動きについて理解  　する。  ・サリドマイド事件について  　学習したことをもとに、  　これからの社会はどのよう  　に取り組めばよいか考える。  ・自身の考えを生徒同士で、  　話し合い、他者の考えを  　取り入れて考えを深める。 | ・教科書の該当部分を  提示し、内容をまと  めさせる。  ・授業から日数が経過  しているため、学習  内容の復習を行う。  ・全員が議論に参加し  　ているか机間巡視を  　行う。 |
| ま  と  め  ５  分 | ○契約の権利と責任  ・契約の自由と責任の  　関係性について考えさ  　せる。 | ・身近な生活における自由と  　責任について考えさせる。 | ・教科書の該当部分を  読んで、内容を理解  　させる。 |